

地域での生活を支え病院との架け橋になる がん相談支援センター

2014/05/15 こうとう地域チームケア研究会
彦根市立病院 がん相談支援センター次長
緩和ケア認定看護師

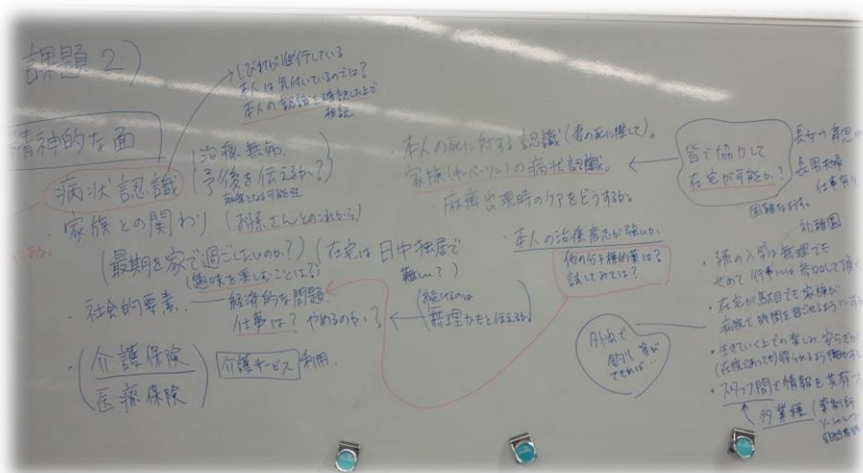
秋宗美紀

がん相談支援センターの業務

- ❁ がん相談支援センターの広報
- ❁ がん相談に関すること
- ❁ がんに関する研修会・フォーラムの開催
- ❁ 患者サロンの協力

緩和ケア研修会

この研修を修了すれば
“がん患者指導料”が
算定可能となる



がん医療者研修会



市民公開講座



がん患者さんや家族が抱える苦悩

病気のことが
とにかく不安

セカンド・オピニオン
緩和ケアって
何のこと？

医療費や
生活費が心配

どんな治療や
検査があるの？

気持ちが
沈む



痛みや苦しみは
取れるものな
の？

相談事例①

60歳代 女性 大腸がん

＜相談者＞ 近くに住む長男

＜内容＞
➤ 主治医との関係性
➤ 母親にどのように接すればよいか

週3回 がん相談支援センターに来室
相談＋自身の感情を出す場所として利用していた

- 診療科部長と相談し、主治医を変更して不安を軽減
- 長男の存在意義を肯定し、がん患者の心理過程を伝えながら、母親との接し方を助言
- 在宅療養中の注意点や社会資源について説明
- 喪失の悲しみに共感し、家族としてできることを助言

問題解決のお手伝い



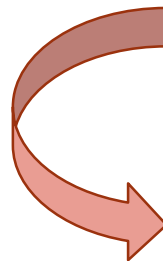
援助する側だって迷い・悩めます！

他施設の医療従事者



- ◆ 患者さんの症状マネジメント（アセスメント）
最近、痛みが強くなってきた
呼吸困難を訴えるが、その原因は？
排便コントロールがうまくいかない
- ◆ 緩和ケア科受診のタイミング・方法について
- ◆ 家族のケアについて
- ◆ 在宅療養をどこまで続けるか・・・
- ◆ 意思決定支援について

地域の医療従事者



在宅患者訪問看護・指導料

鎮痛療法または化学療法を行っている入院中以外の緩和ケアニーズを持つ悪性腫瘍患者について、医療機関等の専門性の高い看護師と訪問看護ステーションの看護師が同一日に訪問



1,285点

相談事例②

80歳代 女性 肺がん

＜相談者＞ 訪問看護師

＜内容＞ 家族は自宅での看取りを希望しているが、
本人の苦痛緩和に難渋している

- 呼吸困難感が顕著⇒ステロイドを内服から注射へ
医療用麻薬の導入
- 倦怠感も増強した⇒座薬を使った浅い鎮静を開始

在宅でも可能な方法を考え、希望する場所での
看取りをサポート

訪問依頼のフローチャート



患者・家族の
同意

秋宗にTEL

当院での受診歴なし

在宅訪問依頼用紙

診療情報提供書

当院での受診歴あり

在宅訪問依頼用紙

FAX

みなさんに質問です

あなたが、治る見込みがなく（余命半年以内）と
告げられた場合

1. あなたはどこで療養したいですか

2. 最後をどこで迎えたいですか

a 緩和ケア病棟

b 自宅

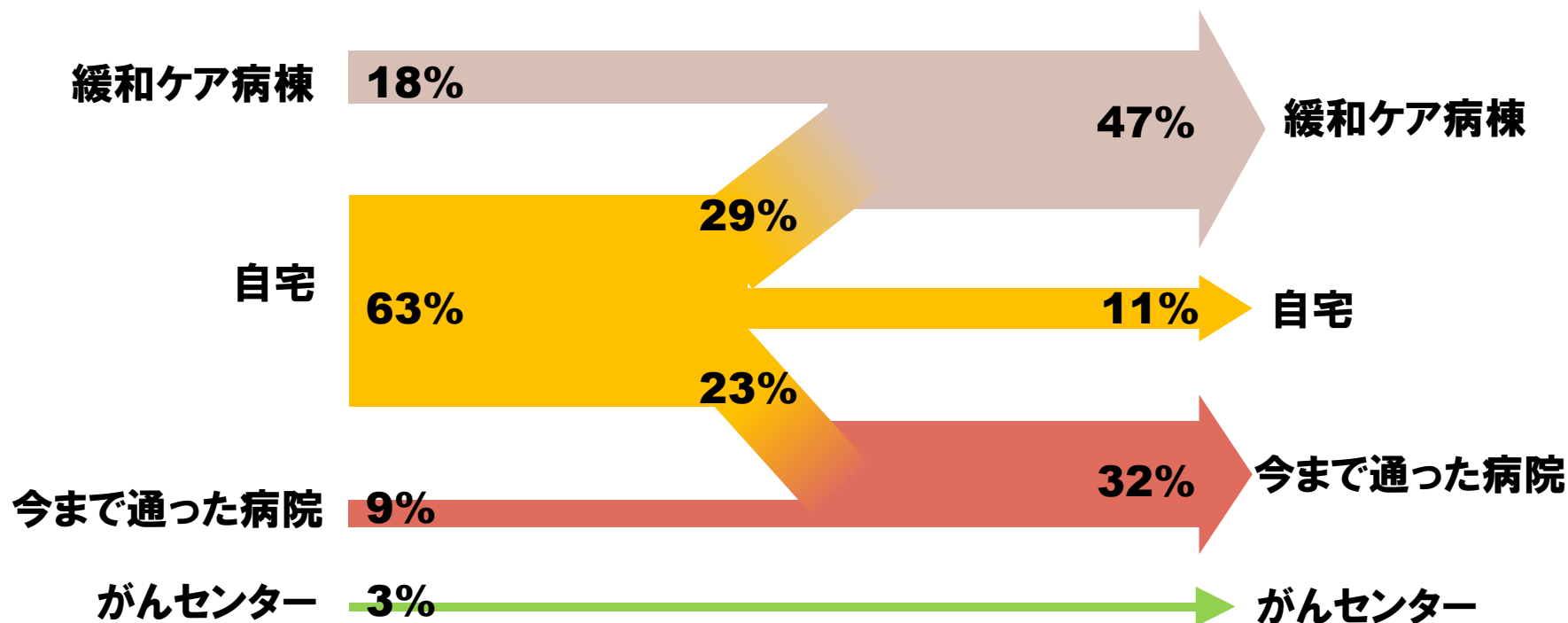
c これまで通った病院

d がんセンター

希望する療養場所は変化する

死期が迫っている(余命が半年以下)と告げられた場合一般集団2,527人(2008年)
<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2008/10/dl/s1027-12e.pdf>

＜療養生活は最期までどこで送りたいですか＞



⇒ いつでも、どこでも、切れ目のない緩和ケア
が提供できる体制を整備する必要がある

どこで過ごすかを決めるのは患者です

住み慣れた家が
良い

家族と一緒に過
ごしたい

迷惑をかけたく
ない

具合が悪い時は
対処が可能

家にいると迷惑
をかける

規則がある

患者が希望する場所、療養にふさわしい場所の選択を手伝う

“その時”になって慌てないために

緩和ケアに関する相談

- 緩和ケアは何をしてくれるところ？
- 緩和ケアの外来で診てもらうには？
- 緩和ケア病棟について教えて欲しい
- 緩和ケア病棟に入院したいのですが...

当院には

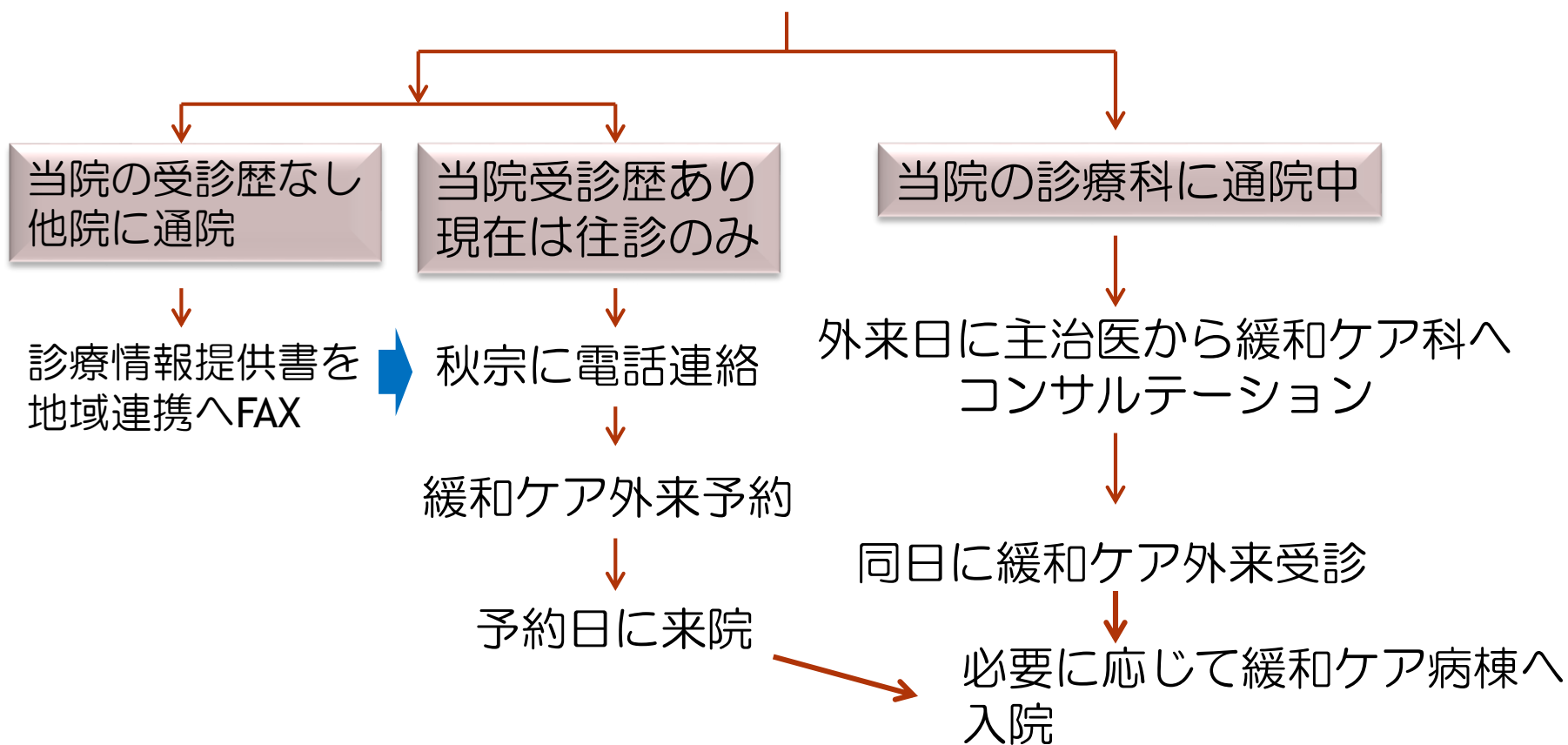
緩和ケア外来

緩和ケア病棟

緩和ケアチーム

患者の状態に応じて必要な部門が
かわり連携をはかる

緩和ケア外来受診フローチャート



がん相談支援センターのコンセプト

あなたの心
を
ささえます

あなたに合
う情報を
提供します

あなたと
一緒に探し
ます

あなたの
生活を
支えます

あなたの
家族
も支えます

自己決定を
支援します

グループワーク（意見交換）の時間です

《検討テーマ》

- ①地域でがん患者さんの医療・ケアを実践するにあたり、困った出来事はどんなことがありましたか
- ②地域と病院の連携に際して、どのような要望がありますか

* 発表について

2分以内で発表できるよう、意見をまとめてください
前出のグループと同意見のものは省略してください

1G

- 慣れている方はスムーズに情報が行くが、いきなり来られると、上手く対応できない
- 退院されるタイミングを調整するのが大変(訪問看護)

3G

- 訪問看護、医療相談が関わる中で、医療保険3割になる方に対する格差あり
- 患者さんも医療費を気にされる方が多い
- 体制づくりが難しい

5G

- 在宅でケアマネさんが多いグループ。いろんな事例が話せた。
- がんが進行してきたことに
- 家族さんが安心できる、ケアマネがいるということ。

7G

- 緩和ケアと在宅の連携関係について
- 病棟で過ごす中でどうやって在宅に戻るのか、大事なテーマだと思う
- 当圏域では、多職種が連携しているが、緩和ケアからの退院についてはまだ見えないところがある
- 疼痛管理について、せんもうについて、在宅に帰ることで軽減することもあることを実感する

2G

- 事例によるが、在宅での支援の場合、訪問看護の有用性が高い。家族の安心にもつながる。
- 家族が主治医に訪問看護導入を相談したが、「悪化時は入院してもらうので不要」といわれたことがあった、、、そのような際に相談支援センターを利用できればと思う。
- 在宅療養について、地域の開業医に緩和ケア研修をつけてもらうような働きかけを。

4G

- 本人の告知について、支援者間の意向が整理できず悩んだ事例について。
- 自宅では生活がある、そこに医療が介入することの難しさ。
- 関係職種が家族の気持ちを以下に共有するかが大切。

6G

- 要望
- レス パイト等、後方支援を病院に頼みたい。
- 抗ガン剤は高額であり、取り寄せも必要、必要な方がいる場合は退院前に情報をもらいたい。
- 退院前に在宅のイメージをもつことが大切。